

要約

穂が非常に長く鮮やかな白色を呈し、出穂期の終わり頃から全体的に白く見える新たな観賞用稲品種「白穂波」を育成しました。

研究成果の概要

1 背景・目的

これまでに5品種の観賞用稲（「ゆきあそび」「べにあそび」「あかねあそび」「赤穂波」「紫穂波」）を開発し、全国の田んぼアートで利用されています。田んぼアートの表現の幅をさらに広げるため、多彩な品種が求められていました。



出穂前 出穂期 傾穂期

写真1 「白穂波」の草姿

2 内容

- 「白穂波」は、出穂後に現れる籾の先端につく芒が非常に長く、鮮やかな白色を呈します。
- 穂揃期から傾穂期にかけて白く長い芒が穂を覆い、全体的に白く見えます（写真1）。
- 田んぼアートでは、葉が色づく観賞用品種の見頃より遅い時期に白色が発現してくるため、時間差で白い図柄を出現させることができます（写真2）。



写真2 平成29年田舎館村田んぼアートの様子
※円で囲んだ部分に使用。
出穂に伴い山の模様が浮かび上がる。

3 活用等

青森県及び全国の田んぼアートに取り組む団体等に普及拡大が期待されます。

関連情報

- 「白穂波」という名称は、白い穂が田面に波打つ姿をイメージして命名されました。
- 種子については、例年1月下旬に青森県産業技術センターHP上で配付要領を公開し、2月上旬から申込みを受け付けます。

農林総合研究所 水稲品種開発部

Tel. 0172-52-4346

E-mail nou_souken@aomori-itc.or.jp